2019 年 2 月 15 日　発行

公益社団法人
福井県理学療法士会

News Letter
No.188

発行人：福井県理学療法士会
〒910-0855
福井市西方 1-2-11　嶋田病院
会　長：四谷　昌嗣
ニュース編集部：辻　大樹
会員数：911 名
施設数：170 施設
（平成 31 年 1 月末日現在）

「人間らしい関わり」

杉田玄白記念公立小浜病院　松井文昭

1 月 13 日に福井県内で一斉に成人式が行われ 8284 名が大人の仲間入りをしました。少子化の流れを受けて、今年の新成人は記録が残る 1982 年以降で 4 番目に少ないそうです。新成人から「頼られる人間に」、「大人の自覚を持つ」、「未来に貢献する」などの決意表明がありました。今から 16 年前、学生だった私も理学療法士になる夢を膨らませていたことを思い出しました。

これからの社会、特に今後 10 年間で、AI やロボット技術の実用化が進み、社会の構造や仕事の内容が大きく変化していくといわれています。理学療法業務においても、歩行支援ロボットなどのように理学療法士の業務の一部をロボットが担うようになってきています。一方、対象者への励まし、動機づけなどの心理的要素を含めた関わりは、今後も理学療法士が実施していくと思われます。理学療法士は人を対象とする職業です。対象者から「リハビリを休ませてほしい」と言われた場合、エビデンスや自分の考えを押し付けるのではなく、まずは対象者の思いを傾聴し受け入れることが大切です。病気の症状以外にも入院生活に対する不安感や孤独感からリハビリに前向きになることができない場合や目指すべき方向性が対象者と理学療法士で異なる場合もあります。このようにリハビリに対する考えは人それぞれ異なるということを念頭に置き、それぞれの対象者の思いや価値観を受け入れ、対話を通じて少しずつ目標をすり合わせていくことが重要であると考えます。言葉で説明するのは簡単ですが、実際は「対象者をやる気にさせる魔法の言葉はないものか」と浅はかな思いを抱きつつ、結局は手探り状態で対応していきます。うまくいくこともあれば失敗することもあり、日々、悩みながら臨床業務に取り組んでいます。一方、理学療法士との関係を通じて、対象者が徐々に意欲的にリハビリに取り組めるようになり、「ありがとう」と笑顔で声を掛けていただいた時は何物にも変えられない喜びや達成感を感じます。

技術革新で今後、社会が大きく変わっても、理学療法士には「共感する力」と「目標を調整する力」が今と変わらず必要であると思います。これからも目の前にいる対象者と真摯に向き合い、人間らしい関わりを大切にしていきたいと思います。

福井県理学療法士会

施設紹介

株式会社ほっとリハビリシステムズ福井北事業所

豊岡　功

当事業所は平成 28 年に完成し、1 階は通所介護と訪問看護ステーション、2 階がショートステイ、3 階は小規模多機能施設と介護付き有料老人ホームとなっています。通い泊まり在宅までを一貫して提供することができます。**「リハビリテーションを核とした街つくり」**を理念として活動しています。リハビリスタッフは理学療法士 14 名、作業療法士 2 名、言語聴覚士 1 名が常勤しています。対象疾患は脳血管・運動器・呼吸器から小児まで様々です。看護師や介護士、ケアマネージャーなど多職種連携し福井市を中心にご利用者様と患者様の**自立支援をサポート**しています。

リハビリは通所介護とショートステイでのグループと個別リハビリを実施しています。グループリハビリではレッドコードを用いたトレーニングや筋力運動、畳でのバランス運動などを担当しています。その他平行棒を用いてのトレーニングや疾患別プログラム、レクレーションなども担当しており皆で協力して楽しく仕事をしています。これからも利用者様の笑顔の為に頑張ります。

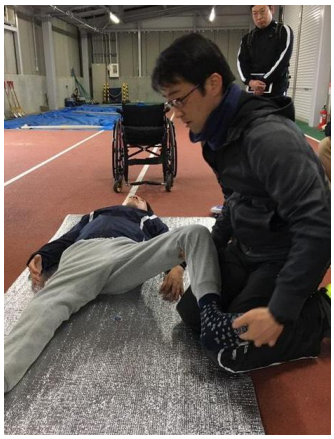
2019 年 2 月 15 日

たけいんき

伊藤竜也選手サポート事業

伊藤選手と一緒に競技用車いす乗車体験イベントを開催して

社会局担当理事　山崎孝



12 月 23 日に福井県陸上競技場サブトラックの室内走路を貸りて、競技用車いすの乗車体験イベントを開催しました。今回は福井県在住のパラアスリート（車いす陸上 100m）の伊藤竜也選手のサポート事業の第一歩として会員との顔合わせを兼ねて計画しました。15 名の会員とその子供たち合わせて 30 名が集まってくれました。終始和気あいあいとした雰囲気で車いす陸上の世界を体感していました。

参加者からの声

福井大学医学部附属病院　松村真裕美

車いすを 2、3 回こぎし顔を上げると、伊藤選手は疾風のごとく私を追い抜いていました。

今回、伊藤竜也選手の話を聞き、車いす陸上の迫力を間近で感じたことをきっかけに、障がい者スポーツについていくつか文献を閲読しました。

障がい者スポーツの歴史ではこの半世紀で法律や環境が発展してきていることを、障がい者スポーツの意義では社会的にも大きな影響を与えることを知り、理学療法士と障がい者スポーツの関わりやこれからの課題では自分にもできることを考える機会となりました。

「障害者自身が自身にできるスポーツを見出すことは容易なことではない．障害が生じて間もないころはなおさらである．障害特性を理解している理学療法士が，適性や潜在的なニーズを引き出し，スポーツの世界へと導いてほしい」という杉山氏[1)]の言葉や伊藤選手の想いを心にとどめ、早期退院や在宅医療の推進がなされている今、スポーツによる社会参画の機会が失われることがないように、まずは理学療法士として情報提供できる知識と興味を持って行動していこうと思いました。

1）杉山真理：パラリンピック競技大会に向けた理学療法士の取り組み，理学療法ジャーナル Vol52 No.10:917-920，2018

春江病院　　水切　孝嘉

福井県営陸上競技場にて車いす陸上選手の伊藤竜也選手の練習を見学させていただきました。目の前で感じた伊藤選手の疾走中の加速スピードの速さや競技用車いすの軽さにとても驚きました。健常アスリートとは異なり、頚髄損傷という病と付き合いながら競技を行っているため、筋力やアライメントの問題、練習後のケアの面においても伊藤選手自身でできる範囲にも限度があるようで、今後私たち理学療法士が競技特性などを学んでいきサポートできる内容も多いのではないかと感じました。世界の舞台で戦う伊藤選手を福井県理学療法士会の一員として、身体面やメンタル面でも支援していけるように、普段の練習から協力していきたいと思いました。

〈伊藤竜也選手の練習日〉
平日、県営陸上競技場・サブトラックにて単独で実施
サポート内容：練習前後のストレッチ、タイム測定、等
サポートに興味のある方は連絡ください
zaki21@yahoo.ne.jp　（山崎）

第 3 回奥越・坂井ブロック合同ミニ学会で症例検討会を行って

尾崎整形外科　坂下　圭祐

12 月 2 日に行われた、第 3 回奥越・坂井ブロック合同ミニ学会の症例検討会で症例報告をさせていただきました。理学療法士になってから、まだ 1 年も経過していませんが担当した症例をこのような場所で報告できたことは、自分の中で大きな経験になり自信にも繋がりました。学生時代より、緊張感があり、うまく報告できるかが心配でしたが、先輩方がやさしく指導していただいたため、無事報告できたことが自分の中で大きな自信となりました。

今回、報告数が少ない症例を担当させていただいた為、リハビリ内容を考えることに苦慮しました。試行錯誤しながら、リハビリ内容を考え、時に変更して行うことができ、良好な結果が得られました。今後も疾患にあった治療内容を立案、実施していきたいと思いました。また、質疑応答でより良いリハビリ内容の指摘など頂いた為、さらなる学習が必要だと感じました。

初めての報告で、緊張がありうまく喋ることができなかったのが反省点でもあり、今後の課題になりました。また、他の先生方の報告を聞き、スライドのまとめ方や報告の仕方などの点で参考になったため、今後に活かしていきたいと思います。また、このような報告の場があれば自分の知識量を増やすことや、自信をつけるために参加をしていきたいと思いました。

奥越・坂井ブロック合同ミニ学会について

春江病院　髙木　佑介

12 月 2 日、福井県立大学にて奥越・坂井ブロック合同ミニ学会が行われました。午前中のつくば国際大学、永井智先生の下肢の運動器の疼痛に対するアプローチ～局所と運動連鎖のみかた～の特別講演では「患部とともに、患部外の機能向上も行い、動作を改善する必要がある」という事が一番印象に残り今までは患部の治療に着目しがちでしたが今後、患部だけではなく隣接関節の評価を詳細に行っていこうと思いました。

午後からの症例検討会では私自身症例発表をさせて頂きたくさんのご意見やアドバイスを頂くことができました。今後頂いたアドバイスを参考にしながら広い視野で患者様を評価し治療を行っていきたいと思います。また、他病院の症例発表では私が普段携わる事の少ない神経難病や緩和ケアに着目した症例に対するアプローチを聞くことができ私がそのような患者様を担当する機会があったら今後参考にしていけたらと思います。

特別講演や症例検討を通して普段の臨床ではあまり学ぶ事のできない知識をより一層深めることができ有意義な研修となりました。

2019 年 2 月 15 日

事務局からのお知らせ　2 月

◆　会員の動向（平成 31 年 1 月末現在）◆

会員数：911 名（勤務先会員　883 名、自宅会員　28 名）、施設数：170 施設
新入会員：42 名　、休会者数：87 名　、退会者数：18 名
✾士会活動は皆様の会費によって運営されております✾

◆　年会費について　◆

2019 年度　年会費納入期限・各種申請期限について

年会費納入期限	2019 年 3 月 31 日（日） ＊新入会員は入会手続き後に納入いただきます
楽天カード・口座振替での 年会費引き落とし日	2019 年 3 月 27 日（水）
移動・休会・退会など申請	随時受け付けますが、2019 年 1 月 1 日～2 月 20 日に行うことで、 4 月 1 日からの新しい所属先での年会費が請求されます。

＊3 月末日までに会費を納入されなかった場合（または休会・退会の申請手続きができなかった場合）は会員資格の喪失により退会の手続きを開始いたします。
退会になった場合、以下の会員として権利や、生涯学習履歴（新人教育プログラム含む）が全て失われます。
再度、会員として在籍を希望される際は、入会手続きが必要となります。尚、過去の履歴は引継ぎができません。

失効する会員権利…研修会・学会等への参加申し込み
＊申込承認済みの研修会・学会においても非会員扱いとなる場合があります。
…会員としての各種演題登録
…会報誌・学術誌等の発送
…理学療法士賠償責任保険の全員加入・任意加入（新規および継続）
…福利厚生サービス「クラブオフ」の利用　　他

◆　年会費の割引制度　◆

育児休業割引	育児休業期間中に割引申請を行った会員について、次年度年会費を割引する制度
	通常年会費 20,000 円　⇒　割引後 5,000 円
シニア割引	満 65 歳以上かつ会員歴 25 年以上の在会会員で割引申請を行ったものについて、移行の年会費を割引する制度
	通常年会費 20,000 円　⇒　割引後 5,000 円

会員の皆様へ　◆

会員の皆様、平素より当会の運営にご協力とご理解を頂き厚く御礼申し上げます。

平成 30 年度も残りわずかとなり、会員の皆様におかれましてはご多忙と存じます。体調を崩されませぬようご自愛ください。

入退会に関する諸届当ご不明な点ございましたら、右記事務局までお問い合わせください。

福井県理学療法士会　事務局
笈田　裕美
横井　浩江
TEL：0776-29-7003

【編集後記】

平成最後の冬。皆さんいかがお過ごしですか？昨年の大雪が嘘のように今年は晴れることが多いですね。今年も気は抜けませんが…もう大雪の中 10km 近くの徒歩出勤は勘弁です（苦笑）寒い日は続きます。風邪にインフルエンザに気をつけていきましょう。

賛助会員

ミナト医科学株式会社 金沢営業所 石川県金沢市金市町二 18 番 1	ハシノメディカル 小浜市千種 1－10－18
ツールケア 福井県福井市加茂河原 2 丁目 13-32-2B	有限会社 奥義肢製作所 福井県福井市二の宮 2 丁目
株式会社ミタス 福井市問屋町 4 丁目 901 番地	
順不同	